

資料-9 栃木県栄養士会 宇都宮短期大学食物栄養学科へのご支援ご協力について

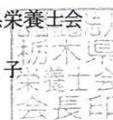
平成 30 年 3 月 10 日

学校法人須賀学園

理事長 須賀 淳 様

公益社団法人 栃木県栄養士会

会長 桑 まり子



宇都宮短期大学食物栄養学科へのご支援ご協力について

栃木県の皆様の健康、福祉の向上にむけた当会の取り組みに、日頃より格別のご理解をいただき、厚く御礼申し上げます。

当会では、「健康な毎日の実現への貢献」を目的に、管理栄養士、栄養士など食の専門職による科学と専門的応用技術に基づく「栄養の指導」を通じて、人々の健康を守り、向上させることを主な使命として、健康づくり、生活習慣病予防、重病化予防に取り組んでおります。また、適切な食生活を支援する制度や体制の整備とともに、次代を担う人材育成事業にも積極的に取り組んでおります。

このたび、貴学園の宇都宮短期大学において食物栄養学科の設置を計画されているとうかがっております。現在、栃木県におきましては、特定給食施設を主とした食分野での栄養士の人材が不足しております。当会としましては、貴学で栄養士養成教育を担っていただけることを大いに歓迎しております。加えて新学科設置に向けたご支援、入学者確保へのご協力（子弟や社会人の入学者の推薦等）、卒業後の進路となる就職先のご紹介など、当会にてご支援、ご協力できることに積極的に取り組んでまいりたいと考えております。

つきましては、貴学園におかれましては、宇都宮短期大学食物栄養学科の設置を是非とも実現され、栃木県の健康・栄養分野の振興等に寄与して下さるようお願いいたします。

この写しは原本と相違ないことを証明します

平成 30 年 3 月 16 日

学校法人須賀学園

理事長 須賀 淳



資料-10 株式会社日本栄養給食協会 宇都宮短期大学食物栄養学科の新設について（要望）

平成30年3月9日

学校法人須賀学園

理事長 須賀 淳 様

株式会社 日本栄養給食協会

代表取締役 橋本 正行



宇都宮短期大学食物栄養学科の新設について（要望）

今日、食品の安全・安心、食育等の食を取り巻く環境作りが求められています。栃木県内の給食業界と致しましても、これに的確に対応し得る人材の育成が喫緊の課題となっております。

このような環境の中、このたび貴学校法人須賀学園が、平成31年4月を目途に設置計画を進めている宇都宮短期大学食物栄養学科は、栃木県における食物栄養分野の人材養成の拡充強化に貢献するものとして、栃木県内給食業界は大きな関心と期待を寄せているところであります。

業界と致しましても、経営者・従業員子弟の志願者のご紹介や給食事業を目指す学生への奨学金の支給など、最大限のご協力とご支援をいたす所存であります。

つきましては、須賀淳理事長先生の特段のご配慮により、宇都宮短期大学食物栄養学科の平成31年度開設を実現していただきたく、切にお願い申し上げます。

この写しは原本と相違ないことを証明します

平成30年3月16日

学校法人須賀学園

理事長 須賀 淳



資料-11 宇都宮短期大学附属高等学校 宇都宮短期大学食物栄養学科への要望書

平成 30 年 2 月 25 日

学校法人須賀学園

理事長 須賀 淳 様

宇都宮短期大学附属高等学校

P T A 会長 星野 隆



宇都宮短期大学食物栄養学科の新設について（要望）

貴学園におかれましては、日頃より温かいご指導を賜わり厚く御礼申し上げます。

貴学園は平成 31 年 4 月を目途に、宇都宮短期大学に新たに食物栄養学科を設置計画
と聞き及んでおります。

本校生徒の同分野への進学ニーズが高まっている中、地元での高等教育専門学科が系列
校に設置されることは、まことに時宜をえたものであり、P T A といたしましても大きな
期待を持っております。とりわけ食育や健康の増進に向けての社会的要請が喫緊である現
在、そのために必要な人材を地域でいかに養成するかが課題となっております。

貴学園では、「全人教育（人間形成の教育）」を教育の基本理念として、家政系の学園と
して創立以来 118 年にわたり地域に役立つ人材の育成をしておられます。

このたび、その歴史と伝統をもとに、食物栄養の現場で活躍できる優秀な人材を多数輩
出されることを心から待ち望んでおります。

つきましては、宇都宮短期大学食物栄養学科の設置が予定どおり実現して、生徒の進路
先の拡充に寄与してくださるよう要望いたします。

この写しは原本と相違ないこ
とを証明します

平成 30 年 3 月 16 日

学校法人須賀学園
理事長 須賀 淳



資料-12 近隣県内の栄養士養成短期大学の学納金（代理徴収金除く）

都 県 名	名称	入学金	1年			2年			1・2年次学費合計			
			授業料	実習費（実習実験費）	教育施設費	1年次学費合計	授業料	実習費（実習実験費）		教育施設費	2年次学費合計	
栃 木	宇都宮短期大学食物栄養学科	300,000	600,000	90,000	380,000	1,370,000	600,000	90,000	380,000	1,070,000	2,440,000	
	アイ・エフ・シー栄養専門学校	175,000	400,000	265,000	300,000	1,140,000	400,000	265,000	300,000	965,000	2,105,000	
	佐野短期大学総合キャリア教育学科栄養士養成課程	250,000	560,000	40,000 (学外実習費)60,000	350,000 (教育充実費)120,000	1,380,000	560,000	40,000 (学外実習費)60,000	350,000 (教育充実費)120,000	1,010,000	2,390,000	
	宇都宮文星短期大学地域総合文化学科フードフィールド栄養士ユニット	300,000	600,000	160,000	200,000 (教育実習費)150,000	1,410,000	600,000	160,000	200,000 (教育実習費)150,000	1,110,000	2,520,000	
群 馬	桐生大学短期大学部生活科学科	250,000	640,000	46,5000 実験・実習費、施設・設備費、図書費等含む		1,355,000	640,000	46,5000 実験・実習費、施設・設備費、図書費等含む		1,105,000	2,460,000	
	明和学園短期大学生活科学科栄養専攻	270,000	600,000	60,000 (栄養士履修費)30,000	60,000 (学園維持費)200,000	1,130,000	600,000	60,000	60,000	720,000	1,850,000	
埼 玉	国際学院埼玉短期大学健康栄養学科栄養士専攻	300,000	107,000(学費:授業料、実習費、施設費を含む)			1,37,000	107,000(学費:授業料、実習費、施設費を含む)			1,07,000	2,440,000	
	武蔵野短期大学健康生活学科健康栄養専攻	300,000	600,000	180,000	210,000 (学園維持費)120,000	1,410,000	620,000	190,000	110,000	920,000	2,330,000	
千 葉	昭学院短期大学ヘルスケア栄養学科	350,000	560,000	教育諸費、実験実習費等、研修旅行費 133,240		260,000	1,043,240	560,000	教育諸費、実験実習費等 108,160	260,000	928,160	1,136,056
山 梨	女子栄養大学短期大学部食物栄養学科	360,000	754,000円	266,000	359,000	1,739,000	754,000円	266,000	359,000	1,379,000	3,118,000	
	戸板女子短期大学食物栄養科	250,000	750,000	(栄養士履修費)20,000		380,000	1,400,000	750,000	(栄養士履修費)20,000	380,000	1,150,000	2,550,000
	新渡戸文化短期大学生活科学科食物栄養専攻	300,000	630,000	210,000 (教育充実費)180,000		-	1,320,000	630,000	210,000 (教育充実費)180,000	-	1,020,000	2,340,000
	東京家政大学短期大学部栄養科	280,000	680,000	65,000	280,000	1,300,500	700,000	300,000		1,000,000	2,300,500	
	愛国学院短期大学家政科食物栄養専攻	270,000	680,000	160,000	300,000	1,410,000	680,000	160,000	300,000	1,140,000	2,550,000	
	帝京短期大学生活科学科食物栄養専攻	250,000	760,000	20,000	149,000	1,179,000	760,000	20,000	149,000	929,000	2,108,000	
	大妻女子大学短期大学部家政科食物栄養専攻	250,000	725,000	210,000 (栄養士履修費)14,000		-	1,199,000	2年次授業料および教育充実費 1,165,000			1,165,000	2,364,000
	武蔵野栄養専門学校栄養科	200,000	620,000	270,000 (維持費)45,000		160,000	1,295,000	620,000	270,000 (維持費)45,000	160,000	1,095,000	2,390,000
	山 梨	相模女子大学短期大学部食物栄養学科	300,000	725,000	53,000	280,000	1,358,000	725,000	53,000	280,000	1,058,000	2,416,000
		小田原短期大学食物栄養学科	340,000	750,000	-	240,000	1,330,000	750,000	-	240,000円	990,000円	2,320,000
山 梨	山梨学院短期大学食物栄養科栄養士コース	200,000	600,000	80,000 (教育充実費)150,000		-	1,030,000	600,000	80,000 (教育充実費)150,000	-	830,000	1,860,000
	飯田女子短期大学家政科食物栄養専攻	250,000	600,000	50,000	260,000	1,160,000	600,000	50,000	260,000	910,000	2,070,000	
	長野女子短期大学生活科学科食物栄養専攻	200,000	560,000	100,000	280,000	1,140,000	560,000	100,000	280,000	940,000	2,080,000	

資料-13 給食施設数・管理栄養士数・栄養士数・調理師数（特定給食施設）

平成28年度衛生行政報告例平成28年度末現在														
給食施設数・管理栄養士数・栄養士数・調理師数(特定給食施設全体)														
県	総数			管理栄養士のみの施設数		管理栄養士・栄養士どちらもある施設			栄養士のみの施設		管理栄養士・栄養士どちらもない施設数	調理師のいる施設数		調理師のいない施設数
	施設数1)	管理栄養士数	栄養士数	施設数	管理栄養士数	施設数	管理栄養士数	栄養士数	施設数	栄養士数		施設数	調理師数	
福島	749	706	816	152	235	219	471	523	230	293	148	675	2588	74
茨城	1014	845	990	205	304	277	541	593	292	397	240	743	2193	271
栃木	1001	714	1016	173	199	259	515	550	368	466	201	882	2702	119
群馬	1012	880	911	234	319	244	561	515	301	396	233	831	2573	181
埼玉	2468	2092	2438	445	640	675	1452	1507	712	931	636	1936	5539	532
千葉	2180	1861	1740	657	794	508	1067	932	668	808	347	1955	6453	225
東京	5479	4584	4601	1472	1820	1130	2764	2564	1423	2037	1454	4655	13127	824
神奈川	3050	2879	2342	876	1168	743	1711	1477	662	865	769	2542	6875	508
給食施設数・管理栄養士数・栄養士数・調理師数(特定給食施設-指定施設)														
県	総数			管理栄養士のみの施設数		管理栄養士・栄養士どちらもある施設			栄養士のみの施設		管理栄養士・栄養士どちらもない施設数	調理師のいる施設数		調理師のいない施設数
	施設数1)	管理栄養士数	栄養士数	施設数	管理栄養士数	施設数	管理栄養士数	栄養士数	施設数	栄養士数		施設数	調理師数	
福島	35	176	106	13	31	22	145	106	-	-	-	34	393	1
茨城	26	110	65	7	42	17	68	63	2	2	-	25	244	1
栃木	66	218	141	17	24	41	194	136	5	5	3	65	414	1
群馬	37	194	132	8	30	27	164	130	2	2	-	36	334	1
埼玉	99	492	342	27	72	66	420	335	6	7	-	92	651	7
千葉	83	407	215	15	40	66	367	212	2	3	-	80	626	3
東京	347	1152	754	143	198	183	954	743	10	11	11	334	1870	13
神奈川	220	781	386	99	150	109	631	380	5	6	7	213	1211	7
給食施設数・管理栄養士数・栄養士数・調理師数(特定給食施設-1回300食以上又は1日750食以上)														
県	総数			管理栄養士のみの施設数		管理栄養士・栄養士どちらもある施設			栄養士のみの施設		管理栄養士・栄養士どちらもない施設数	調理師のいる施設数		調理師のいない施設数
	施設数1)	管理栄養士数	栄養士数	施設数	管理栄養士数	施設数	管理栄養士数	栄養士数	施設数	栄養士数		施設数	調理師数	
福島	176	119	112	70	87	25	32	51	57	61	24	167	746	9
茨城	248	220	226	79	99	55	121	143	66	83	48	216	791	32
栃木	247	122	228	65	68	44	54	75	119	153	19	239	973	8
群馬	221	184	143	99	108	36	76	74	57	69	29	203	786	18
埼玉	681	404	571	182	205	126	199	262	253	309	120	618	2234	63
千葉	666	444	402	299	327	62	117	120	266	282	39	647	2723	19
東京	1784	1114	781	731	776	120	338	268	476	513	457	1685	5444	99
神奈川	886	515	360	394	410	63	105	133	215	227	214	821	2387	65
給食施設数・管理栄養士数・栄養士数・調理師数(特定給食施設-1回100食以上又は1日250食以上)														
県	総数			管理栄養士のみの施設数		管理栄養士・栄養士どちらもある施設			栄養士のみの施設		管理栄養士・栄養士どちらもない施設数	調理師のいる施設数		調理師のいない施設数
	施設数1)	管理栄養士数	栄養士数	施設数	管理栄養士数	施設数	管理栄養士数	栄養士数	施設数	栄養士数		施設数	調理師数	
福島	538	411	598	69	117	172	294	366	173	232	124	474	1449	64
茨城	740	515	699	119	163	205	352	387	224	312	192	502	1158	238
栃木	688	374	647	91	107	174	267	339	244	308	179	578	1315	110
群馬	754	502	636	127	181	181	321	311	242	325	204	592	1453	162
埼玉	1688	1196	1525	236	363	483	833	910	453	615	516	1226	2654	462
千葉	1431	1010	1123	343	427	380	583	600	400	523	308	1228	3104	203
東京	3348	2318	3066	598	846	827	1472	1553	937	1513	986	2636	5813	712
神奈川	1944	1583	1596	383	608	571	975	964	442	632	548	1508	3277	436

注:1)調理師の有無を把握できない施設があるため、「調理師のいる施設」の施設数と「調理師のいない施設数」の和が、施設数の総数に一致しない場合がある。

資料-14 給食施設数・管理栄養士数・栄養士数・調理師数（その他の施設）

平成28年度衛生行政報告例平成28年度末現在														
県	総数			管理栄養士のみの施設数		管理栄養士・栄養士どちらもいる施設			栄養士のみいる施設		管理栄養士・栄養士どちらもいない施設数	調理師のいる施設数		調理師のいない施設数
	施設数 ¹⁾	管理栄養士数	栄養士数	施設数	管理栄養士数	施設数	管理栄養士数	栄養士数	施設数	栄養士数		施設数	調理師数	
福島	877	219	482	71	85	108	134	172	256	310	442	591	1123	286
茨城	925	404	641	131	169	167	235	261	312	380	315	594	992	331
栃木	546	210	379	96	113	87	97	127	197	252	166	424	772	122
群馬	423	146	228	72	90	45	56	64	144	164	162	270	518	153
埼玉	2170	591	1034	224	287	214	304	318	586	716	1146	1063	1795	1107
千葉	883	341	543	165	184	127	157	157	305	386	286	656	1320	227
東京	4101	1328	2519	496	659	497	669	722	1273	1797	1835	2224	3548	1877
神奈川	2236	831	1305	367	440	285	391	400	698	905	886	1429	2480	807

注：1)調理師の有無を把握できない施設があるため、「調理師のいる施設」の施設数と「調理師のいない施設数」の和が、施設数の総数に一致しない場合がある。

資料-15 栃木県の高校生の大学進学状況(H29.10 発表学校基本調査より)

		出典:学校基本調査29年10月公表					
		23年度卒	24年度卒	25年度卒	26年度卒	27年度卒	28年度卒
高校卒業業者数	男	9,172	9,369	8,864	8,904	8,905	8,998
	女	8,567	8,900	8,527	8,587	8,649	8,495
	計	17,739	18,269	17,391	17,491	17,554	17,493
大学進学者数	男	5,224	5,229	5,030	4,997	5,014	4,959
	女	4,049	4,278	4,056	4,195	4,197	4,126
	計	9,273	9,507	9,086	9,192	9,211	9,085
短期大学進学者	男	107	88	82	80	71	74
	女	875	891	801	768	791	792
	計	982	979	883	848	862	866
進学者合計	男	5,331	5,317	5,112	5,077	5,085	4,467
	女	4,924	5,169	4,857	4,963	4,988	4,599
	計	10,255	10,486	9,969	10,040	10,073	9,066
大学等進学率(%)	男	51.0	49.8	48.9	50.0	49.7	49.6
	女	53.4	55.0	52.8	54.1	54.5	54.1
	計	52.2	52.3	50.8	52.0	52.1	51.8

大学(学部)入学者の流動状況

		出典:学校基本調査29年10月公表					
		23年度卒	24年度卒	25年度卒	26年度卒	27年度卒	28年度卒
大学進学者	総数	9,273	9,507	9,086	9,192	9,211	9,085
	県内進学	2,114	2,121	1,996	2,113	2,028	2,110
	(%)	22.8	22.3	22.0	23.0	22.0	23.2
	県外進学	7,159	7,386	7,090	7,079	7,183	6,975
	(%)	22.2	77.6	78.0	77.0	78.0	76.8
進学先(上位) 1位	東京都	2,551	2,729	2,580	2,704	2,689	2,629
	(%)	27.5	28.7	28.4	28.3	29.2	28.9
2位	埼玉	1,188	1,234	1,182	1,189	1,193	1,105
	(%)	12.8	13.0	13.0	12.9	13.0	12.2
3位	神奈川	877	795	793	741	762	756
	(%)	9.5	8.4	8.7	8.1	8.3	8.3
4位	千葉	448	532	531	526	562	507
	(%)	6.00	5.60	5.80	5.70	6.10	5.6
短期大学進学者	総数	982	979	883	848	862	866
	県内進学	637	658	597	573	585	598
	(%)	64.9	67.2	67.6	67.6	67.9	69.1
	県外進学	345	321	286	275	277	268
	(%)	35.1	32.8	32.4	32.4	32.1	30.9
進学先(上位) 1位	東京都	146	129	110	109	114	115
	(%)	14.9	13.2	12.5	12.9	13.2	13.3
2位	埼玉	78	82	72	67	72	55
	(%)	7.9	8.4	8.2	7.9	8.4	6.4
3位	群馬	52	51	48	54	41	50
	(%)	5.3	5.2	5.4	6.4	4.8	5.8
4位	神奈川	18	19	14	11	9	17
	(%)	1.8	1.9	1.6	1.3	1.0	2

資料-16 人材需要に関するアンケートのための設置構想資料

認可申請計画中です

宇都宮短期大学では
平成 31 年度に「**食物栄養学科(仮称)**」新設を計画しています。

須賀学園は明治 33 年、須賀栄子により栃木県初の私学女子教育機関として宇都宮市に創設され、117 年の歴史を有しています。「全人教育(人間形成の教育)」の建学の精神のもと、宇都宮短期大学は、昭和 42 年に音楽科、平成 13 年に人間福祉学科を設置し、卒業生は音楽と福祉の分野で活躍しております。

この度、平成 31 年度より「食物栄養学科(仮称)」を新設し、国家資格である栄養士養成を計画しております。健康で豊かな生活は食生活から始まり、医療・福祉の専門職と食の専門家(管理栄養士・栄養士・調理師等)が連携して支援することが大切です。

本学の附属高校調理科では、半世紀にわたり調理師を養成し、また、県産の食材を利用した商品開発や食育活動等の地域貢献活動も行っていました。こうした実績と、本学人間福祉学科の福祉に関する教育研究、及び系列の宇都宮共和大学子ども生活学部・シティライフ学部の子育て支援やまちづくりに関する教育研究と連携し、ライフステージに合わせた食育、健康保持増進や施設での栄養指導を通じて、栃木県の食文化に貢献できる栄養士を養成してまいります。

設置計画の概要

1. **新学科名称** 宇都宮短期大学 食物栄養学科(仮称) 入学定員 30 名
開設予定時期 2019 年 4 月 (平成 31 年 4 月)
設置場所 宇都宮市下荒針町長坂 3829(長坂キャンパス、宇都宮駅からバス約 25 分)

2. 養成する人材像

- ① 広い教養と、自立・自律した生活者としての行動規範を身につけた人材
- ② 豊かな人間性と感性をもち、食に係わる基本的知識・技術・方法を身につけた人材
- ③ 人間尊重の精神と、食に係わる知識・技術・方法を身につけた人材
- ④ 倫理性をもった栄養士として、食や福祉に係わる広い分野で地域や社会に貢献できる人材

3. 本学食物栄養学科の特色

- (1) 栄養士として将来の活躍を希望する専門分野に合わせた履修モデルで、専門知識・技術・方法を学ぶことができます。
 - ① 調理技術と食物・栄養に関する知識を高め、ホテル・レストランや食関係の企業等で活躍する。
 - ② 子どもの食育や高齢者等を対象とした栄養指導ができ、児童福祉施設や高齢者福祉施設、訪問栄養士、医療機関等で活躍する。
 - ③ 管理栄養士を目指す(栄養士として 3 年間の実務経験を経て、管理栄養士の受験資格が取得できる)。
- (2) 製菓や和・洋・中の専門家より、調理技術やコーディネート方法を学び、身につけることができます。
- (3) コミュニケーション技術や他職種との連携方法を学び、自己の素質を伸ばすことができます。

4. 取得できる資格

- ・栄養士 ・管理栄養士受験資格(卒業後、栄養士として 3 年間の実務経験が必要)
- ・社会福祉主事任用資格 ・フードスペシャリスト資格受験資格
- ・キャンパインストラクター ・メイクアップ技術検定 2・3 級受験資格 等

※新学科設置は計画中であり、設置概要は正式に決まったものではありません。今後、文部科学省・厚生労働省の指導により、変更する可能性があります。

新学科開設準備に係るアンケート調査票

下記の1~5の質問に対しまして、ご協力をお願いいたします。

* 回答は、○または記述をお願いいたします。

1. 貴施設では、栄養士または管理栄養士を、配置していますか。

- ① 栄養士を配置している ()
- ② 管理栄養士を配置している ()
- ③ 今後栄養士を配置する予定である ()
- ④ 今後管理栄養士を配置する予定である ()

2. 給食運営はどのような形ですか。

- ① 直営 () ② 委託 () ③ その他 ()

3. 給食に従事する職員を採用するにあたって、重視されていることは何でしょうか。当てはまるものすべてに○をつけてください。

その他、ございましたら、お教えてください。

- ① 給食に関する専門的知識・技術を身につけている。 ()
- ② 対象者に応じた栄養指導ができる。 ()
- ③ 他職種との連携ができる。 ()
- ④ コミュニケーション能力を身につけている。 ()

その他

4. 本学に栄養士養成課程ができた場合、本学の学生を採用の対象としていただけますか

- ① 是非採用対象としたい ()
- ② 採用対象としたい ()
- ③ 採用対象として検討したい ()
- ④ 採用対象としない ()

5. 本学の栄養士養成にご要望がありましたら、忌憚なくご記入をお願いいたします。

--

貴施設の名称と記入者及び記入日をお願いいたします。

名称	記入者	記入日
		月 日

アンケートは以上です。

ご多忙中、本調査にご協力いただきまして、誠にありがとうございました。

得られました貴施設の情報は、本アンケートの目的以外での使用はいたしません。

新学科開設準備に係るアンケート調査票

下記の1~5の質問に対しまして、ご協力をお願いいたします。

*回答は、○または記述をお願いいたします。

1. 貴社の給食業務の受託先で、該当する施設すべてに○をつけてください。

- | | | | |
|---------|-----|-----------|-----|
| ①病院 | () | ④介護老人保健施設 | () |
| ②児童福祉施設 | () | ⑤一般企業 | () |
| ③老人福祉施設 | () | ⑥その他 | () |

2. 給食に従事する職員を採用するにあたって、重視されていることは何でしょうか。当てはまるものすべてに○をつけてください。

その他、ございましたら、お教えてください。

- | | |
|--------------------------|-----|
| ①給食に関する専門的知識・技術を身につけている。 | () |
| ②対象者に応じた栄養指導ができる。 | () |
| ③他職種との連携ができる。 | () |
| ④コミュニケーション能力を身につけている。 | () |

その他

3. 給食施設で働く食の専門職として、有益な資格や免許ついて当てはまるものすべてに○をつけてください。

その他、ありましたら記入してください。

- | | | | | | |
|--------|-----|------|-----|------|-----|
| ①管理栄養士 | () | ②栄養士 | () | ③調理師 | () |
| ④その他 | () | | | | |

4. 本学に栄養士養成課程ができた場合、本学の学生を採用の対象としていただけますか

- | | |
|---------------|-----|
| ①是非採用対象としたい | () |
| ②採用対象としたい | () |
| ③採用対象として検討したい | () |
| ④採用対象としない | () |

5. 本学の栄養士養成にご要望がありましたら、忌憚なくご記入をお願いいたします。

--

貴社の名称と記入者及び記入日をお願いいたします。

名称	記入者	記入日
		月 日

アンケートは以上です。

ご多忙な中、本調査にご協力いただきまして、誠にありがとうございました。

得られました貴施設の情報は、本アンケートの目的以外での使用はいたしません。

資料-19 人材需要に関するアンケート調査結果

調査対象	配布数	回答数	質問1. 栄養士または管理栄養士を配置していますか				質問2. 給食運営はどのような形ですか			質問3. 給食に従事する職員を採用するにあたって重視していること					質問4. 本学に栄養士養成課程ができた場合、本学の学生を採用の対象としていただけますか			
			① 栄養士を配置している	② 管理栄養士を配置している	③ 今後栄養士を配置する予定である	④ 今後管理栄養士を配置する予定である	① 直営	② 委託	③ その他	① 給食に関する専門的知識・技術を身につけている	② 対象者に応じた栄養指導ができる	③ 他職種との連携ができる	④ コミュニケーション能力を身につけている	⑤ その他	① 是非採用したい	② 採用対象としたい	③ 採用対象として検討したい	④ 採用対象としない
児童福祉施設(保育所)	49	32	26	5	4	1	27	8	1	32	20	26	27		7	7	13	3
介護老人保健施設、高齢者・障がい者施設	76	51	26	35	2	1	25	25	0	43	34	43	37		16	12	21	3
病院	49	21	6	21	0	0	7	12	2	17	13	15	20		3	1	10	4
給食委託事業所	10	7								6	2	2	7		5	2		
	184	111	58	61	6	2	59	45	3	98	69	86	91		31	22	44	10

資料-20 卒業生の採用意向等についてのヒアリング調査票

日頃から本学の教育研究活動につきましては、ご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

さて、宇都宮短期大学人間福祉学科は、平成 13 年度に設置して以来、今日まで地域福祉のリーダーを養成する教育機関として、約 1,700 名の卒業生を送り出してまいりました。

このたび、「食物栄養学科（栄養士養成課程）」の新設を計画中で、その準備を進めております。食物栄養学科では、既設の人間福祉学科や宇都宮共和大学子ども生活学部の教育研究成果と連

携して、食を通してすべてのライフステージにおいて健康と福祉の向上を目指し、地域に貢献で

きる人材養成に努めていく所存です。

つきましては、新学科設置のための基礎調査の一環として、下記の通りヒアリングを実施させていただきたく、ご多忙な中、誠に恐縮ですが、ご協力いただければ幸甚に存じます。

記

実施日時 平成 30 年 月 日()

ご回答者様 貴社名 _____
 所在地 _____
 ご職名 _____ ご芳名 _____

Q 1. 貴社の栄養士関連の職員について、欄内に人数ご記入ください。

資格	学歴	人数
栄養士	専門学校卒	
	短大卒	
	4年制大卒	
管理栄養士	4年制大卒	
	現場3年	
	大学院卒（修士）	
	大学院卒（博士）	

Q 2. 貴社が栄養士を採用している理由は、何ですか？（○をお付けください（複数回答可））

- ① 業務上、不可欠だから
- ② 特に管理栄養士を必要としないから
- ③ その他

[]

Q 3. 栄養士の職員を採用するにあたって、重視されていることは何でしょうか。
（○をお付けください（複数回答可））

- ① 栄養士として専門的知識・技術を身につけている。
- ② 他職種との連携ができる。
- ③ コミュニケーション能力を身につけている。
- ④ その他

[]

Q 4. 貴社の栄養士の業務上、特に必要と思う知識・技術は何ですか？
（○をお付けください（複数回答可））

- ① 食材選び、②献立作成、③栄養バランスの計算、④調理指導、⑤衛生管理の知識・技術
- ⑥ その他

[]

Q 5. 食物栄養学科の卒業生（平成 33 年 3 月以降）を採用の対象としていただけますか。

- ① ぜひ選考対象としたい
- ② 選考対象としたい
- ③ 選考対象として検討したい
- ④ 選考対象としない

Q 6. 本学の栄養士養成教育へのご要望を、ぜひ、ご記入をお願いいたします。

[]

ご多忙な中、貴重なお時間を拝借し、誠にありがとうございました。いただいたご回答は、本学「個人情報保護規程」に基づいて厳格に管理し、食物栄養学科設置のための参考とさせていただきます。

以上